

## 新校の検討が本格的にスタートしました！

7月30日（金）に富秋中学校区に新しく整備する施設一体型義務教育学校（小中一貫校）の開校にむけて、開校までに検討が必要な事項について意見交換を行う、「学校開校準備委員会」を発足し、その第1回目を開催しました。

### 学校開校準備委員会とは？

富秋中学校区各校の校長先生やこども園、幼稚園の代表者、P T A代表の方々やまちづくり検討会議の代表者を中心に、必要に応じて町会関係の方々にも参画をお願いしながら、開校に向けて様々な事項について意見交換を行っていきます。

(検討項目)

- ・教育内容 ・学校施設 ・P T A組織 ・通学について
- ・学校名 ・校章 ・校歌 ・制服 など



## ■当日の主な説明内容

### ●令和3年度の取組み予定

- ①新校舎の基本事項（教室数や新校舎の規模など）を整理  
→次年度から、新校舎の具体的な内容について検討を行うため、基本事項の整理を行っていきます。
- ②学校名の整理  
→学校名の決定方法や候補となる学校名（案）の整理を行っていきます。

### ●めざす学校像について

新校舎を検討していく上での参考とするため、これまでの意見などの共有を行いながら、新校の基本コンセプトについて意見交換を行いました。（当日の主な意見は、裏面に記載しています。）

### ●校舎配置について

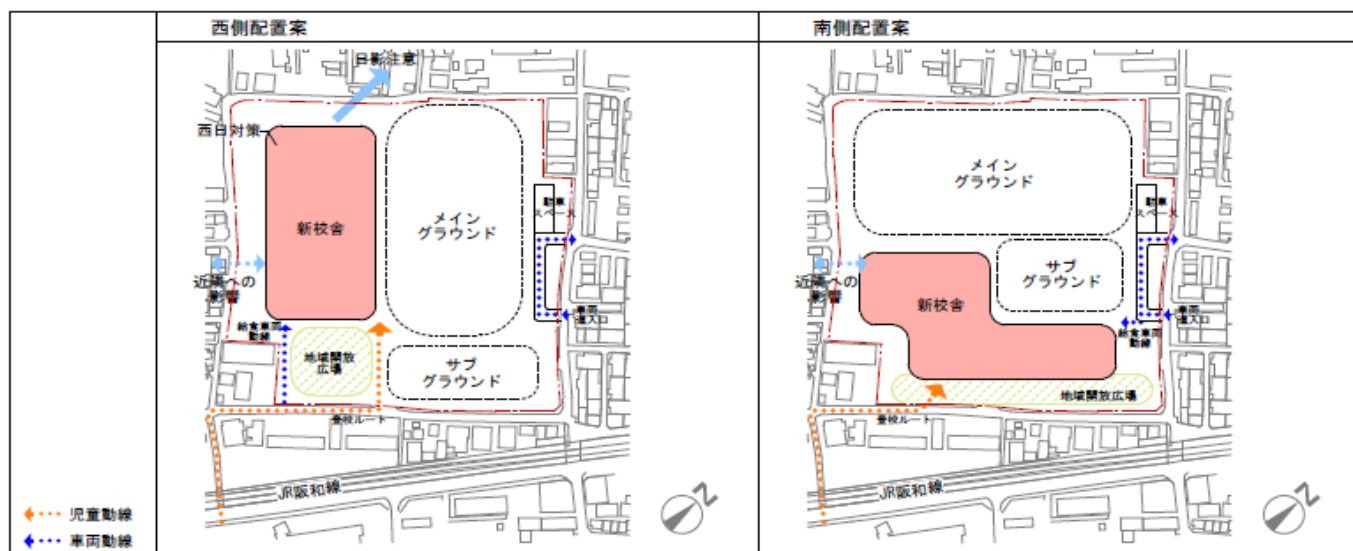
新校舎の配置について、西側案・南側案の説明、意見交換を行いました。（配置案や当日の意見については、裏面に記載しています）

# 意見交換での主な意見

## 【めざす学校像について】

- ・地域とつながり、地域と協働し、地域とともに歩む学校
- ・個性や多様性を認め合える学校
- ・子ども同士でつながって、先生とつながって、地域とつながり、生涯学び続ける学校
- ・人権教育、人権活動をどのように組み込んでいくかが重要
- ・現在の3校のコンセプトや特色学習などを継承してほしい
- ・勉強だけでなく、スポーツ、芸術などにも力を入れてほしい
- ・放課後だけでなく、日中も地域の方と連携できる取組みを進めてほしい
- ・木々や草花、生き物が生息しやすい環境の整備 など

## 【新校舎の配置について】



- ・西側配置案、南側配置案の工事イメージやメリット、デメリットの説明を行いました。
- ・当日の意見としては、工事期間や、通学の安全性などを踏まえると、南側配置案で進めるほうが良いという意見が多数挙げられました。

**※次回の開催では、校名の決定方法の整理や引き続き校舎整備について意見交換を行っていく予定です。**

**メール登録で 情報をお届け！ & ご意見をお寄せください！**

メール登録をしていただければ、富秋中学校区の新しい学校の検討についての情報を受け取ることができます。また、みなさんからのご意見もお寄せください。登録は下記アドレス宛て、もしくは右のQRコードを読み取っていただき、氏名、「ニュースレター希望」と記載のうえ、メールを送信してください。

**【tomiaki@city.osaka-izumi.lg.jp】**

